

インピーダンス

日本共産党通研支部

<http://impedance.sakura.ne.jp/>
jcp.impedance@gmail.com

No. 2628

2023 年 4 月 17 日

定価 1 部 10 円

暮らし壊す4つの大問題

軍拡財源確保法案は廃案に

今後5年間で総額43兆円もの大軍拡を推し進めるための新たな基金を創設する「軍拡財源確保法案」が6日の衆院本会議で審議入りしました。

議長は法案の四つの大問題を厳しく指摘。第1は、復興特別所得税の半分を軍事費に流用し、期間を延長すること。第2は、「歳出改革」についてどこを削るか

示していないこと。社会保障費をはじめ暮らしの予算が軒並み削減されることは火を見るよりも明らかです。第3は、医療や年金のために積み立ててきたお金を、軍事費に流

用することです。第4は、軍事費に国債をあてること。戦時国債の無制限の発行が侵略戦争拡大につながった反省にたつて、財政法で原則禁止とさ



れた国債発行という「禁じ手」に踏み出すことです。

志位氏は、「この道を許せば、増税、社会保障大削減、国家財政の破綻は必至です。『軍拡より生活』に大切な税金を」と強調し、廃案を訴えました。

統一地方選挙の結果について

4月10日 日本共産党常任幹部会(声明要旨)

9日投開票された統一地方選挙の前半戦で、日本共産党は、道府県議選で、愛知県の議席空白を克服し、8県で議席増を果たしました。しかし議席は99議席から77議席に後退の結果となりました。

一方、得票では、4年前の統一地方選挙での得票には至りませんでした。昨年の参議院選挙の比例得票と比べると、得票数で132.5%、得票率で166%です。私たちは、この統一地方選挙を、「日本共産党封じ込めの逆流を押し返すた

たかい」と位置づけて奮闘してきました。参院選比例得票と比べて得票を伸ばしたことは、そうした奮闘の反映と考えます。

首長選挙では、「オール与党」政治、維新政治の転換をはかる立場で、大義の旗をかげてたたかいました。それは今後に生きるものです。

支持をお寄せいただいたみなさんに、心からお礼申し上げます。後半戦(区市町村議

子ども医療費・学校給食費・子ども国保料
子ども支援「三つのゼロ」を

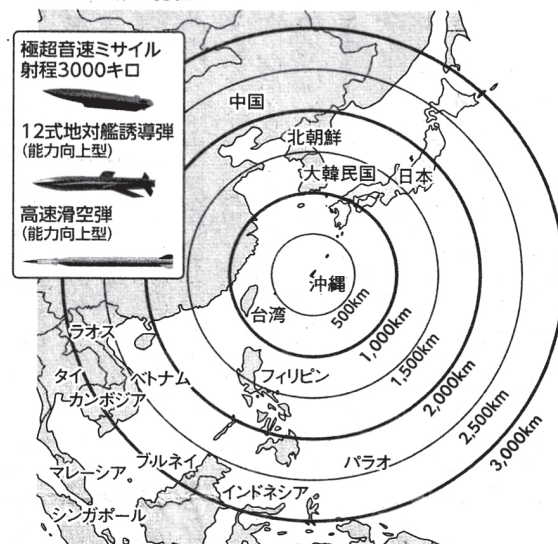
職場から

北朝鮮の弾道ミサイル発射でJアラート。

【うらへ続く】

「朝7時のニュース」の途中で、『北海道周辺に落下する可能性がある』との臨時ニュースに緊張した「あとで訂正され、日本のEEZ内への落下はなかつ

敵基地攻撃能力で配備予定のミサイル
アジア全域を射程に



出典: 「しんぶん赤旗」2023年 春号外から山添拓事務所作成

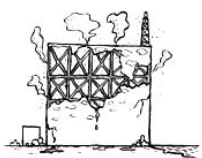
今週の数字

原発帰の大転換「GX法案」 60年超運転を可能に

福島教訓忘れたのか

原発の活用を「国の責務」と明記するなど、原発回帰に大転換する「GX(グリーン・トランズフォーメーション)脱炭素電源法案」の国会審議が始まりました。この方針は「原発の依存度は低減する」「新増設は想定していない

い」という政府自身の従来方針を投げ捨て、財界や産業界の要求を丸のみにするものです。原子炉等規制法の改定案は、「原則40年、最大60年」という運転期間を制限する規定を同法から削除し、電気事業法に移します。事故



の教訓である「規制と推進の分離」に反します。また、規制委の審査などによる停止期間を運転期間としてカウントせず、実質60年を超えての運転を可能に

し安全上のリスクはさらに高まります。日本共産党の笠井議員は衆院本会議で、「事

北朝鮮の暴挙に強く抗議する ―外交ルートの確立こそ急務

志位委員長が談話

一、北朝鮮は13日、弾道ミサイルの発射を強行した。(中略)

日本共産党は、北朝鮮の暴挙を厳しく非難し、強く抗議するとともに、これ以上の発射と核開発の中止を厳重

に求める。一、日本政府が今やるべきは、北朝鮮の軍事的挑発のエスカレートを抑え、問題を外交的に解決するための実効ある取り組みである。日本政府は、北朝鮮

戻ってこない 年金積立金

破綻米2銀行に550億円投資

日本の厚生年金や国民年金の積立金が、3月に経営破綻した米シリコンバレー銀行と米シグネチャー銀行の株式や債券に時価総額約550億円(2022年3月末時点)も投資

されていた。預金取り付けの波及をおそれたバイデン大

故の反省も教訓も投げ捨てるもの」と批判、原発回帰を撤回し、「原発ゼロ」決断を強く求めました。

【職場からの続き】
た「北海道ではJRや地下鉄が一時運行を見合わせた」
× × ×
新型コロナウイルス。



「政府は、5類に移行される5月8日以降、コロナに感染した小中高生の学校出席停止措置を5日間に短縮。日々の感染者数の公表は行

わらない方針だ「死亡者数も都道府県報告は終了し人口統計で把握するようだ」「マスク着用が緩和されて1カ月、着用率は横ばいとのこと」
× × ×
日本の総人口、前年比55万6千人減(総務省12日発表)。「12年連続マイナスだ」「実効ある少子化対策や人口減に対応した施策が急務になっている」

× × ×
プロ野球。「大谷が2勝した。去年よりも投打とも進化している」

「新緑がきれい。花も次々と咲き始めている。八重桜、オオムラサキツツジ」「武蔵野中央公園に点在するツツジが



「WBC以降、出場したプロ野球ピッチャーも成績が良い。自信をつけたのだろう」「大リーグでは今季から投球間に時間制限を設けるピッチクロックが導入された」「打者にも打撃準備の時間制限がつく

白やピンクの花をつけている。数は少ないが真っ白なユキヤナギは見ごろだ」

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぶ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 930円

【訂正】先週号の記事「西東京市平和の日」で、「武蔵野製作所」は「武蔵製作所」の誤りでした。